



恵田小新聞

令和6年
5月

第176号

令和6年度
全校児童
40名

がんばります！



「地域、特色ある恵田小の活動に学ぶ」

校長 岡本 弘恵

ウグイス、キビタキ、オオルリ。野鳥たちの美しいさえずりが響くなか行われた入学式、始業式。四名の新入生を迎えた、四十名の恵田っ子たちが一堂に集い、一五一年目の新しいスタートを切る、恵田小学校にふさわしい華やかさでした。

恵田小で桜咲く春を迎えられたこと、たいへんうれしく思います。素直で明るく、礼儀正しい恵田っ子たち、協力してくださる保護者、地域の方とともに学校生活を送ることができるからです。全力で学校運営に取り組みます。

本校の校訓は「自立」です。その目指す恵田っ子の姿に向け、どのような学びの場を設定するかを考えていきたいと思えます。幸い、恵田小には、保護者、学区民、恵田っ子、先生が手を取り合って教育を進めるというよい伝統があります。そして、恵田の豊かな自然があります。それを生かした教育活動を、展開していきたいと思えます。

ご協力、よろしく願います。

「PTA会長就任にあたり」

PTA会長 小野 達司

令和六年度PTA会長に就任しました小野達司と申します。恵田小学校が創立して一五〇年となりました。その間には、コロナ禍を含めさまざまなことがありました。この先もさまざまなことがあるとは思いますが、先生方、保護者の皆様、そして地域の皆様の協力をいただき、子ども達の未来そして恵田小学校の未来をつないでいくバトンの役割となるように務めてまいります。会長として至らぬ点もあるかと存じますが、一年間、なにとぞよろしくお願いいたします。

副会長あいさつ

「一五〇周年メモリアルな一年」

鈴木 康博

本年度も新たに四名の恵田っ子を迎え、スタートすることができました。進級した児童のみならず、それぞれ一つの学年となり、登校している顔つきを見かけるたび、頼もしく感じていきます。

今年度は恵田小創立一五〇周年という大きな節目を迎えます。記念式典準備も本格化し先生方や地域の方々を合わせて、作り上げていければと思います。私も子供たちのために微力ながら務めさせていただきますので、至らない点もあらかと存じますが、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

新一年生保護者

「新たなスタート」

石川 隆子

不安とドキドキで入学式を終えて、新たなスタートを切って三週間。重いランドセルを見たときは、大丈夫かなと思いましたが、

「ママ、行ってきます。」

と元気に言って、朝、みんなの列に入れてもらい歩いていく姿を見て、たくましく成長したと感じました。スタートラインに立つたばかりで、いろいろなことがこれからあると思いますが、六年間、学校の仲間と楽しく、元気にいろいろなことを学んでほしいと思います。六年間、よろしく願います。

「ゆっくりゆっくり大きくなあれ」

大山 あいか

「宿題やらなきや。音読聞いて。」

ついこの間まで宿題とは無縁の生活をしてきた娘が、一生懸命、平仮名プリントをやったり、国語の教科書を開いて音読したりしている。いつまでも「小さい」と思っていた末っ子が、いつの間にか大きくなっていて、感慨深い。とはいえ、ランドセルはまだまだ重く、帰ってくるへとへとで、夕飯前に寝てしまうこともしばしば。優しい上級生たちと、楽しい仲間たちに囲まれて、無理せず、ゆっくり成長していかれたらと願う。

「全力チャレンジ」

加藤 由里

入学前、

「小学校では運動をがんばるよ。」と、がんばりたいことを教えてくれました。最初はできないことに心が折れかけてしまうこともあるかもしれませんが、先生や上級生に教えてもらったり、お友達のがんばる姿を見たりして、「ぼくもやりたい、上手になりたい。」と、なにごともチャレンジし、恵田小の六年間で大きく成長してほしいなと思います。

「待ちに待った二年生」

中根 美沙

入学前に幼稚園を卒園後、登校の練習で姉たちと一緒に学校まで歩きました。一日だけかと思いきや、修了式までの四日間毎日歩いたほど、小学校へ行くのを楽しみにしていた彩葉。学校生活が始まり、家に帰ってくると、学校での様子を楽しく話してくれました。

これからの六年間、恵田小でしか経験できないことがたくさんあるので、いろいろなことを学んで成長して欲しいです。

【お願い】

教職員の働き方改革を推進するにあたり、学校への電話連絡の受け取りを七時三〇分から一八時までとさせていただきます。なお、定時退校等で、それ以前に電話対応ができないこともあります。ご理解、ご協力をお願いします。

転任者あいさつ

「空を見上げて」

内山 彩由実

今、たくさんの思い出や恵田っ子達の輝く姿が思い出されます。

できないことにぶつかったとき、あきらめずにたった一人でも挑戦するたくましい姿。小さな子が困っていると、そっと寄り添ってくれる優しい姿。夢を抱き未来へと旅立っていく誇らしい姿。

多くの方々に支えていただき、私達は本当に幸せでした。同じ空を見上げながら、これからもみなさんをずっと応援していきます。

「恵田小での出会いに感謝」

浅井 恵子

恵田小で過ごした三年間で子どもたちの素敵な姿をたくさん見せてもらいました。少人数で作り上げる学芸会、生き物と触れ合う姿、落ち葉スキーや一輪車で次々と技を身につけていく姿を思い出すと、自然に笑顔になります。そこには、恵田っ子の一生懸命な姿があったからです。登下校で子どもたちを見守ってくれたり、行事で助けてくださった地域の方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

「皆様に感謝」

中里 百合子

八年間お世話になりました。恵田では、落ち葉スキー、稲作や様々な栽培活動など、多くの貴重な体験をさせていただきました。その活動の全ては地域の方々の温かいサポートのおかげです。素直で優しい子供達、いつも快く力を貸して下さる心強い学区の皆さんが私は大好きです。幸せな八年間を本当にありがとうございました。これからも恵田のことを思いながらがんばっていきます。

「宝物となった六年間」

浅井 悠輔

恵田小学校で過ごした日々は本当にあつという間でした。うまくいったことも失敗したこともありましたが、楽しく、そして学びの多い日々とすることができました。子どもたちとともに経験してきたことは全て自分にとっての宝物となりました。この宝物を胸に次へとつなげていきたいと考えています。恵田小の行事やぶどう狩りなどでまた会うことができました。

「感謝」

安藤 恵利

この自然豊かな恵田小学校に九年間お世話になりました。自然の恵みと人々の温かい心に囲まれ、とても有意義で素敵な時間を過ごすことができました。私は恵田っ子の笑顔が大好きです。ときには、くやしくて涙する姿も素敵ですが、周りを明るくしてくれる笑顔を忘れずに、成長して欲しいと思います。みなさんとの出会いに感謝です。ありがとうございました。

令和6年度 PTA役員のみなさん

